

会 議 録

会議名称	令和7年度第1回地域生活支援専門部会
日 時	令和7年（2025年）11月12日（水）13:30～14:30
会 場	越谷市中央市民会館5階 会議室4～6
出席者	【出席委員】 田井委員、齋間委員、中山委員、石塚委員、柳沼委員、村上委員、石黒委員、上薄委員 【欠席委員】 高橋委員 【事務局】 （障害福祉課）齊藤調整幹、近藤調整幹、藤本主幹、河合主幹、対馬主幹 石井主事 （子ども福祉課）岩片主任
配付資料等	【配布資料】 ・次 第 ・資料1：自立支援協議会における評価根拠 ・資料2：評価シート案 ・地域生活支援専門部会 部会員名簿 ・事務局職員等一覧
会議次第	1 開会 2 議事 (1)基幹・拠点の評価の仕組みについて (2)その他 3 閉会
会議内容	1 開会 新たな部会員を事務局より紹介し、ご挨拶いただく。 2 議事 (1) 基幹・拠点の評価について ○事務局から資料1に基づき、基幹・拠点の評価について以下のとおり説明を行う。 ・実施の根拠として、厚生労働省より発出されている自立支援協議会の運営に関する通知において、市町村が設置する協議会における取組のひとつとして、基幹相談支援センターの実施状況等の評価を行うことが求められている。 ・基幹相談支援センターの業務の一部は国の補助金の対象となっており、実施要項において、協議会等を活用し事業実施状況等の検証を行うことが市町村の役割として規定されている。

- ・評価実施の目的は、評価を行うだけではなく、結果をフィードバックすることにより、今後の事業運営の参考とすることで事業の質の向上を図ることを目的としている。
- ・実施方法は、①基幹相談支援センターより評価シートを提出、②市で評価実施、③専門部会において評価実施、④一連の結果を基幹相談支援センターにフィードバック・助言等を行うことを想定している。

【質問・意見等】

委 員：この専門部会で評価をするのは良くないのでは。基幹相談支援センターの受託事業者の関係者が4名入っており、客観性が担保できないことから、外部の意見をいただくことが大事なのでは。

委 員：受託事業者の関係者がいないのが一番良いが、この部会で実施するということであれば、評価実施方法として、自身の所属する法人が受託している基幹相談支援センターの評価には入らず、その他3か所の評価を行う形にしてはどうか。

部会長：評価という言葉につられてしまうが、基幹の自己評価をもとに、市が客観的評価を行うと認識しており、自己評価、市の評価をもとに専門部会では、基幹相談支援センター全体として、どのような取組等を今後していくかを検討し、助言を行っていく場であると認識している。

委 員：市の評価はどういったことをするのか。

事務局：基幹、委託それぞれの業務実施状況について、市の現状や仕様書の内容と照らし合わせながら稼働状況について総合的に検証、評価を行う。市としても、客観性の担保や幅広い意見という観点から、委員の追加も必要ではと考えており、今日の間でも意見をいただきたいと考えている。

委 員：新たに評価のための部会を立ち上げるのは時間がかかるため、一度本部会において実施し、今後評価方法についても検証をし、適宜見直しをしていく形としてはどうか。

委 員：検証、評価を行うにあたり、事業の内容をよく理解している必要があるため、第三者ばかりが評価を行うこともよくないのでは。必要に応じて委員を増やす形がよいのでは。

委 員：内部の評価も大事であるが、業務自体は当事者や関係機関の外部に向けて行うものであるから、外部からの評価も必要であるとする。関係機関等へアンケートなどを実施し、外部からの声を集める仕組みも必要では。

部会長：いきなり範囲を広げすぎると收拾がつかなくなるため、可能な限りで行うという意見でよい。

委 員：重層的支援という観点で、社会福祉協議会などに入ってもらっては。

委 員：一連の評価が半年となっているので、もう少し短くしたほうが良いのでは。

委 員：当事者も入れたほうが良いのでは。

事務局：部会員の増員についてはどうか。

部会長：部会の活動として、基幹の評価のみではなく、地域生活支援拠点等の内容も入るため、両側面の内容を把握している人でないといけないのでは。

○資料 2 に基づき、評価シートの内容について意見交換を行う。

【質問・意見等】

委 員：○×で回答する部分について、質問文章の標記を統一したほうが良いのでは。数字回答と○×回答の部分の順番の並び替えが必要。

委 員：評価については、現状半年かけてやることになっているが、半年ごとにやるのか。

部会長：あくまでも評価実施のスケジュールとして半年になっているのみで、評価自体は年 1 回である。

委 員：人員配置について、2 年度分入れるのはなぜか。

部会長：人員の増減や、常勤と非常勤の割合を視覚的に判断できたほうが良いと思い、このような形とした。

委 員：具体的な業務内容の部分は、基幹、委託の評価と分けられているが、総合的な部分の評価も 2 つに分けては。

委 員：総評の部分については、スペースを広げてほしい。

部会長：評価シートのほか、根拠となる資料を添付してもらうことも一つの方法であると感じている。

部会長：今回資料送付が急遽であり、なかなか意見が出せなかったこともあるかと思うので、改めて意見があればメール等で行政に連絡をしてほしい。

(2) その他

事務局：次回の開催は令和 7 年 1 2 月頃を予定している。

5 閉会